



国民の森林・国有林

中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://www.chubu.kokuyurin.go.jp/>

広報

中部の森林



完成した北信署新庁舎



アルミニウムを使用した屋根



カラマツ材を使用したトラスの列



トラスをつり上げ

カラマツ材等の合法材を使用して 克雪対策をほどこした新庁舎

(P4に関連記事)

| | | |
|------|----------------------|------------|
| 主な項目 | ○ 職員の異動 | P 2～5、9～12 |
| | ○ 北信森林管理署新庁舎完成 | P 4 |
| | ○ 風景紀行 | P 7 |



この広報誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。

新任幹部挨拶



新総務部長
土田 薫

この度、四月一日付で総務部長を拝命いたしました、土田薫でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日本アルプスをはじめとした豊かな大自然と木曾ヒノキに代表される優良・豊富な森林資源に恵まれた中部森林管理局において勤務できますことをとても嬉しく思っています。

私は、千曲川が信濃川に名を変え、七〇キロほど下った所に位置する越後長岡の出身であり、昭和四十九年に前橋管林局（現関東森林管理局）に採用となりました。

中部森林管理局の勤務は初めてですが、かつて飯山管林署（現北信森林管理署）に隣接した新潟県の六日町管林署（現中越森林管理署）にて二度勤務し、担当区主任（現森林官）と署長の任にあつたわけですが、このとき、飯山管林署の方々と公私にわたるお付き合いをさせて頂いたことが懐かしく思い出されます。

さて、平成二十年度の業務もスタートしたわけですが、本年度の林野庁予算では、未来に向けた「美しい森林づくり」の推進と国産材の復活のための多角的な森林整備の推進等を総合的に展開することを重点事項としており、我が国有林野事業においてもその果たすべき責務には大きなものがあります。特に、積極的な間伐等による森林整備を通じた地球温暖化防止対策における国有林野事業の役割はとても大きなものとなっております。

一方、平成十八年十二月に制定された行政改革推進法に基づく国有林野事業特別会計の見直しに係る検討についても目前に迫ってきていますが、今、我々にとつて重要なことは、職員一人一人が国有林野事業の使命をきっちり果たしていくことだと考えています。

そのためには、なんと言つても労働災害のない、皆が心身ともに健康で、明るく元氣な職場をつくることが重要と考えます。

私も、これらのことを肝に銘じ、率先垂範して参りたいと考えておりますので、皆様のご協力のほどをよろしくお願い申し上げます、着任のご挨拶といたします。

◆土田部長の略歴

生年月日 昭和29年5月14日
本籍 新潟県長岡市
略歴 新潟県立長岡高等学校卒業

(S48・3)

- 昭61・3 養成研修専攻科卒業
- 〳49・4 前橋局今市署採用後、六日町署、秋田局小国署・花輪署、林野庁経営企画課・林産課・林政課を経て
- 平10・4 前橋局六日町管林署長
- 〳11・3 関東局中越森林管理署長
- 〳12・1 北海道局帯広分局監査官
- 〳12・4 北海道局帯広分局国有林野管理第四課長
- 〳13・8 林野庁職員・厚生課課長補佐（安全衛生班担当）
- 〳15・8 林野庁林政課課長補佐（人事管理班担当）
- 〳18・4 林野庁林政課課長補佐（主計班担当）
- 〳19・4 林野庁林政課管理官（予算担当）
- 〳20・4 中部局総務部長



新森林整備部長
桂川 裕樹

四月一日付で森林整備部長を拝命しました、桂川でございます。歴史と伝統ある中部森林管理局の一員として勤務でき

る誇りと喜びを胸に、皆様とともに全力で業務に取り組む所存です。

生まれは局管内の岐阜県ですし、趣味の登山では随分通いました、出張でも参っておりますので、それなりの土地勘はありますが、勤務としては初めてであり、まず現場の状況をきちんと知ることから始めたいと考えております。皆様のご指導・ご鞭撻をよろしく願います。

さて、国産材の供給量は平成十四年を底として増加が続いています。製材原木の過半は既に国産材。外材が卓越していた合板についても国産材が急増、さらに国産材チップも注目されています。

久しく待ち望まれていた国産材時代が、昔の期待とは違う形かも知れませんが、まさに到来しようとしています。

こうした新たな動きの中で、国有林の果たすべき新たな役割も次第に見えてきたように考えています。

安定供給が生み出す国産材需要の拡大、流通や加工の構造改革、低コスト化によるメリットの山元への還元など、国有林・国有林共通の林政の重要課題について、我々の事業実行を通じていかに貢献していくか、新たな林業のモデルをどのように示していくか、ということではないでしょうか。

民有林行政が補助金等を手段とするのに対して、国有林は日々の業務を通じて課題の実現に寄与することが出来ます。

「国有林の管理経営」のうち、ともすれば「経営」については企業的な面のみに着目しがちですが、「経営」についても政策として取り組むことができますし、それを求められてもいるのです。

もちろん収入確保やコスト縮減といった視点は不可欠です。また、公益的機能の維持増進が国有林の主たる任務であることも変わりません。

しかしそれだけではなく、国有林の経営が、自分たちの仕事で、どれだけの政策的価値を生み出せるのか、管内の林業全体の中で先駆けとしての役割をどのように果たしていくのか、一緒に考え、取り組んでみようではありませんか。

また、その前提として、健康で安全な活気ある職場づくりが必須と考えております。自らも率先努力して参りますので、よろしく願っています。

◆桂川部長の略歴

生年月日 昭和34年8月20日

本 籍 岐阜県恵那市

略 歴 京都大学農学部林学科卒

(S57・3)

昭57・4 林野庁林政課採用後、林野庁業務課、熊本局大根占署・企画調整室、宮崎県北方町、林野庁業務第二課・経営企画課を経て

平3・8 大阪局三次営林署長

々6・3 タイ王国王室林野局

平9・4 林野庁経営企画課企画官

々11・10 ネパール王国森林土壤保全省

々14・4 林野庁経営企画課課長補佐

(経営改善第一担当)

々16・4 林野庁木材課課長補佐

(総括)

々17・4 林野庁管理課監査官

(業務課兼任)

々20・4 中部局森林整備部長

お世話になりました

前総務部長

箱石 文夫

昨年の四月、新たな人との出会いに期待をしながら、中部森林管理局の門に立ちました。期待に違わず、多くのすばらしい人たちと出会うことができました。一年間という短い期間ではありましたが、中部局の勤務を最後に公務員生活にピリオドを打つことになりました。歴史と伝統のある中部局での勤務は、光栄でもあり、また、生涯忘れ得ぬ地となりました。この間に頂いた職員の皆様のご厚情に対し、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

昭和四十三年、青森営林局田山営林署に期待と不安を持ちながら、学生服の姿

で赴任したことが、ついこの間のような気がしてなりません。以来、林野庁を始め、中部局以北の全ての局を転々と異動したことになります。異動したそれぞれの任地でのことを振り返ってみますと、楽しかったこと、苦しかったこと、そして夜も寝れずに悶々としたこと等々てんこ盛りのように多くのことが思い返されますが、今となってみれば、苦しかったことも良き思い出となっています。お世話になった多くの方々に、誌上をお借りして感謝申し上げます。

中部局の勤務の中で労働安全の確保という面も含めて、自分自身の指導力のなさを痛感しています。特に、公務災害と交通事故の発生件数については、災害を起こしてほしくない、同僚に怪我をさせてほしくないとの一念で安全活動に取り組みましたが、残念の一言に尽きます。職員の皆様方におかれましては、今一度、労働安全の基本である「人命尊重」の重さをかみ締めていただき、「災害のない健康で明るい職場」を目指した取組をお願いいたします。そして、二十年度は「0災」で各種事業が終了した。」という知らせが飛び込んでくることを期待しています。

最後になりますが、中部森林管理局の益々のご発展と職員の皆様方のご健康とご発展をお祈り申し上げます。「感謝」の一語とさせていただきます。ありがとうございました。

前森林整備部長

瀬戸口 満

この度の異動で北海道局石狩署勤務となりました。平成十八年四月に中部森林管理局に参ってからちょうど二年間でありましたが、職員の皆様方をはじめ多くの方々に大変お世話になり、楽しい日々を過ごさせて頂きましたことに感謝申し上げます。

在任中を振り返りますと、この二年間で、低コスト・高効率作業システムの推進、伐採系森林整備並びに素材のシステム販売の推進、平成十八年七月の集中豪雨による災害対応、地球温暖化防止対策の推進、土木工事での総合評価落札方式の積極的試行、林産物収入の確保、木材流通及び森林整備での長野県との連携等、様々な取り組みかつ中部局なりの取り組みをさせて頂きましたが、私の一番の印象は、職員の皆様がいるいろいろな事案に対して前向きにそして真摯に対応して頂いたということです。今後とも中部局が地域との連携のもとで円滑な業務運営がなされますことを期待いたします。

一方で、趣味の音楽を通じていろいろな方々とお付き合いさせて頂きましたし、北アルプス主体に山登りや温泉巡りも堪能することができました。山々に囲まれ優れた自然環境の中で、信州の人と自然に触れ、長野での二年間は私的にも思い出深いものとなりました。

この四月からは、初めての北海道勤務

です。石狩署は札幌市中心部にあり、管轄は西は積丹半島から南は支笏湖周辺、北は留萌の南側の増毛山地までで、約二十一万坪の管理面積で単一署では日本一のようなです。管内に道内人口の約四割を擁しており、札幌市の約四割強が国有林であるなど、都市部を含めた地域住民の多様なニーズ等を踏まえた業務運営が必要で、今年も洞爺湖サミットがありますが、支笏湖でもジュニアサミットがあります。環境問題等森林への期待が大きく高まる中、北海道国有林にも早くなじみたいと思います（音楽活動は既に開始しました）。

最後に、中部森林管理局の益々のご発展と、局長はじめ職員の皆様方のご発展とご健勝を祈念しお別れのご挨拶とさせていただきます。

北信森林管理署 新庁舎完成

〔北信署〕全国有数の豪雪地帯として知られる長野県飯山市の旧庁舎跡地で、平成十九年八月三十日に着工した北信森林管理署新庁舎の建築工事が平成二十年三

月十日に竣工し、三月二十六日、地元自治体関係者等多数の来賓が出席して落成式が行われました。

新庁舎は、基本コンセプトである「克雪」を中心として、「木の暖かさ・美しさ・力強さ」をPRする、シンプルで機能的な庁舎となるよう設計しました。

今回の設計にあたり、課題となった三つの点を挙げてみます。

◆各種の法的規制

建築地が第一種住居地域であることから、日照権の制約（地上高一〇メートル以上の建築物を建てる場合は三十日間の標識設置）があり、工期や経費の面から、新庁舎は、地上高一〇メートル未満の制約下で屋根勾配、事務室等の天井高等を決定しました。また、建築地は準防火地域のため、木造建築における防火構造の基準を満たすための設計としました。

◆克雪対策

飯山市においては、構造計算に用いる垂直積雪量が「二・五メートル以上三・〇メートル未満」の地域であることから、豪雪からの建物保護を第一に考え、事務室を二階にした切り妻型の総二階とし、屋根は三寸五分勾配の自然落雪方式としました。

屋根材は、屋根重量の軽減と落雪を早期に確実にするため、比重が鉄の三分の一で熱伝導率が鉄の三倍あるアルミニウムを使用しました。初期経費は掛増しますが保守経費がかからず経済的であると

考えています。

また、屋根からの落雪を早めるため、屋根裏に事務室の暖気を上昇させる天井型自然換気ダクトを四カ所、天井型強制換気ダクトを六カ所設けました。さらに、夜間や休日の降雪に対処するため、屋根裏には暖めた不凍液を循環させる簡易暖房システムも組み込みました。

駐車場等の融雪は、井戸水の散水による消雪を行うこととし、旧庁舎で使用していた井戸と、新たに深さ一〇〇メートルの井戸を掘削し、効率的に融雪が行えるよう散水式消雪施設を設置しました。

◆事務室の大空間の確保

建物を切り妻型の総二階とした結果、当初は二階事務室の間口一〇・五メートル、奥行き一八・二メートルの空間を確保することは構造計算上困難であり、事務室の中に柱を建てるか、壁に控え壁を設けるしかないとのことでしたが、一五センチ角のカラマツ柱二本を抱き合わせてポルト止めし、その上に洋トラスを載せて組み上げる方式とすることにより、経済的にかつ強度のある構造となりました。

新庁舎は、延べ床面積が約四九四平方メートルで、約一一〇立方メートルの木材を使用しています。

使用している木材は、柱等の構造材や腰壁等には戸隠・飯綱地区の国有林材カラマツを、間柱や垂木等には中野・黒姫地区産のスギを使用しています。

また、床の一部には、北信森林管理署の歴史を五十年間見つめてきた旧庁舎のフローリング材を再生利用し、新庁舎に引き継いでいます。

その他のフローリングは、ブナ等の国産材で、使用されている全ての木材は持続可能な森林経営から生産された合法証明木材を使用しています。


新築庁舎が「克雪」と「木の暖かさ・美しさ・力強さ」をPRする、機能的な庁舎となったことから、新庁舎を拠点として、地域の発展に貢献できるよう業務運営に努めていきたいと考えています。



完成した北信署新庁舎

新規採用者の紹介

どうぞよろしく
お願いします。



- ① 出身地
- ② 趣味・特技
- ③ 社会人になっての抱負

平成二十年四月、十一名(Ⅲ種八名、

Ⅱ種三名)の新規職員が採用となり、それぞれの森林管理署等に配属され、社会人としての第一歩を踏み出しました。新規採用者の皆さんからの抱負等を紹介します。

☆Ⅲ種採用



かみむら たかあき
神村 高明
(飛騨署)

- ①長野県木曾町
- ②バレーボール、剣道
- ③十八歳という若さで国家公務員になり、戸惑っています。日々成長していけるよう頑張ります。



しもまき もとき
下牧 幹
(富山署)

- ①長野県木曾町
- ②バスケットボール
- ③高校を出て社会人になったので分からないことばかりですが、一生懸命頑張りたいと思います。



もりした よしひろ
森下 佳宏
(岐阜署)

- ①長野県木曾町
- ②スポーツ(野球・バレーボール)、登山、スノーボード
- ③今までの学生とは違ったことがたくさんあると思うので、責任ある行動を取りたい。



しまだ じゅんき
島田 純樹
(東濃署)

- ①長野県野沢温泉村
- ②バスケットボール、サッカー、バレーボール
- ③新社会人になって、分からないことばかりですが、毎日少しずつ覚えていきたいです。



さいとう よしあき
齋藤 由晃
(木曾署)

- ①岐阜県大垣市
- ②読書、スポーツ
- ③自分を愛する心と、今の初心を忘れず元気とめり張りを持って、精一杯取り組みたいです。



えさき ようすけ
江崎 陽介
(南木曾支署)

- ①岐阜県山県市
- ②テニス、自然観察
- ③森林の良さを一人でも多くの人に伝えたいという思いを忘れず、頑張っていきます。



えいぎ なかざわ
中澤 栄貴
(北信署)

- ①岐阜県郡上市
- ②ドライブ、スノーボード
- ③健康には気をつけて、仕事を頑張っていきたいです。



さわだ こうへい
澤田 康平
(南信署)

- ①愛知県豊田市
- ②サッカー
- ③まだまだ分からないことばかりですが、どんなことにも積極的に取り組んでいきたいです。

☆Ⅱ種採用



しげまつ ちはき
重松 千晶
(東信署)

- ①東京都
- ②バレーボール
- ③初心を忘れず日々成長していけるよう努力していきたいと思えます。



やまもと たけお
山本 武郎
(愛知所)

- ①大阪府
- ②絵を描くこと
- ③社会人としてのルール、マナーを守り自己管理に気をつける。



やまおか なおき
山岡 直樹
(中信署)

- ①岐阜県多治見市
- ②スポーツ、料理、釣り
- ③早く仕事を覚え業務に貢献したいです。また、自己研鑽の継続に努めていきたいです。



局幹部と記念写真

各地からのたより

伝えたい木の文化、

残したい美しい森

「美しい森林づくり」岐阜県と連携し講演会でPR

【飛騨署】飛騨地域森林・林業・木材産業活性化センター（会長 門前清孝飛騨高山森林組合長）は、高山市にある飛騨・世界生活文化センターにおいて、新生産システムに取り組む（株）西村木材店代表取締役の西村仁雄氏を講師に招き、「素材の安定供給と製材加工の事業展開」と題し講演会を三月十三日に開催しました。

西村氏は、木材製品に求められる品質・性能、上下流の連携した透明性のある取り組みの必要性などについて講演され、会場には建築基準法の四号特例見直し問題も相まって、林業事業者や製材工場、建築会社など予想を大きく上回る一六〇名の方が参加され、飛騨森林管理署、岐阜森林管理署からも三〇名が参加しました。

講演会では、岐阜県飛騨農林事務所とも連携し「伝えたい木の文化、残したい美しい森」のキャッチフレーズと「始まっています 美しい森林づくり推進国民運動」と書かれた垂れ幕を作成し「美しい森林づくり」運動をPRするとともに、講演終了後に運動の趣旨等を説明し参加者の理解を深めました。

岐阜県とは、今後も森林・林業に関する



美しい森林づくりの取り組みを説明する前原署長

る催しなどで、互いに連携し積極的に「美しい森林づくり」のPRに取り組んでいくことにしています。

森や水の大切さを学ぶ場に

「高山市と「遊々の森」協定」

【飛騨署】高山市の市街地中心部を流れる清流宮川。春の高山祭りでは朱塗りの「中橋」を渡る祭屋台の景色が有名ですが、この橋の下を流れるのが森林計画区の名前にもなっている宮川です。この宮川の源流部に位置する、宮森林事務所管轄の宮国有林は、最高峰の川上岳（一、六二五メートル）や巨樹巨木百選の「宮の大イチイ」などを有する約一、四〇〇畝

です。昨年はこの地域を利用して、高山市や岐阜県と連携した森林と親しむ様々

な活動を行ってきました。こうした取り組みを通じて、高山市から「小中学生が森とふれあうなかで、水の大切さや環境問題などを学ぶフィールドとして活用したい。」との要望が出され、高山市長との間で宮国有林の一部（一、二四畝）について「遊々の森」の協定を締結する運びとなりました。

協定は、四月七日に土野守市長のほか、教育長、水道環境部長、農政部長など市幹部が出席するなか、高山市主催による調印式において締結されました。調印後、市長からは「本協定を機に、自然体験活動や地域における市民活動がより盛んになることを願う。」といった挨拶があり、国有林の協力で期待を寄せられました。

また、本協定に積極的に取り組まれた高山市一之宮支所によって、市内の小中学生に「遊々の森」の趣旨説明と共に愛称の募集が行われ、総数二〇〇件の応募の中から、審査の結果「源流の森」に決定しました。市では協定地で行われる六月開催予定のイベントの中で表彰式を予定しています。河合一之宮支所長は「川上岳の分水嶺から注がれる一滴が日本海へと流れていく。そんな自然の姿を川下に住む子供たちを含めて体感できる取り組みにしたい。」と遊々の森を通じた活動の広がりに期待を込めた抱負を語られました。

当署は「美しい森林づくり」「地域発案システム」として「遊々の森」協定に



調印を済ませた前原署長と土野市長

取り組むこととしており、これを機に、さらに地域と連携して取り組んでいく考えです。



飛騨清見「せせらぎ街道」

高山市中心街から白川村に向かう国道一五八号線は高山市清見町中心街で郡上市明宝に向かう県道三七号線に分かれます。清見町へは昨年高山市街地まで完成した中部縦貫自動車道で各地からのアク

セスがさらに便利になっています。この県道三七号線を通称「せせらぎ街道」と呼び、約三・五キロメートル行つたところに、大原（おっぱら）森林事務所が管轄する高山市清見町大原地区があります。

ここ大原地区はいまも豊かな自然が残っており、小学校跡を活用した「おっぱら自然体験センター」の裏側には個体数の多いことでは飛騨随一といわれる「カタクリ群生地」があります。カタクリは日本特有の植物と言われ、林の中の雪が解けたところに芽吹き前の落葉広葉樹林の林床に姿を見せ、ほかの植物が茂るころには姿を消すことから「早春植物」とか「春植物」などと呼ばれています。

ここ大原では四月下旬から五月上旬にかけて一斉に可憐な花を咲かせ、いつもは静かな大原地区も可憐に咲く花の姿に見入る多くの方で賑わいます。

大原地区には、一ツ梨国有林、マツ谷国有林及び大原国有林の三つの国有林があります。過去には直営生産が華やかにおこなわれていましたが、今は間伐作業など森林整備に取り組んでいる国有林です。一ツ梨国有林の下流に位置する楢谷には高山市の巨木にも選ばれたサワラ（幹周り一・二一五センチ、樹高二五メートル）などの巨樹が人知れず河畔に林立しており、豊かな自然を体感する隠れた穴場となっております。

また、大原地区を走る国道二五七号線沿いは春の新緑、秋の紅葉などとともに、

美しい川の流れなど素晴らしい渓谷美が多くの方を魅了し、平成八年には「せせらぎ溪谷県立自然公園」に指定されたほか、大原地区にある「道の駅 バスカル清見」のラベンダー園も観光のスポットとなっております。

大原地区が賑わう時期をもう一つ紹介します。それは清流馬瀬川で六月から始まる鮎の釣りシーズンです。馬瀬川のアユは全国的に有名ですが、その最上流部に位置する大原地区は知る人ぞ知るアユ太公望のメッカとなっており、シーズンには多くの釣り人で賑わいます。そして管内三つの国有林はこの清流馬瀬川の源となっております。

この馬瀬川は昨年九月に東京で開かれた「利き鮎会スぺシャル i n T O K Y O」で、全国で味に定評のある十七河川のアユの利き味が催され、なんと日本一の栄冠に輝きました。

この大会はお国（川？）自慢の鮎が出品される中、審査員が塩焼きの味に舌鼓をうち、美アユ日本一を競うもので、審査員には漫画「釣りキチ三平」著者の矢口高雄さんら自他共に許すアユ好きがそろつての審査となっております。

「景色よし」、「味よし」、「自然よし」どうぞ日本一の味を楽しみに皆様「飛騨清見せせらぎ街道」へおいでください。

【アクセス】

◆中部縦貫自動車道高山西ICから高山

市街方面へ向い、途中の県道七三号線（主）「高山清見線」にて、郡上市方面へ車で約四〇分。



可憐なカタクリの群生地

楢谷の巨樹群



シリーズ22

実験林・試験地等紹介



「東信森林管理署・指導普及課」中部森林管理局（旧本局）管内の二段林は、カラマツを上木にヒノキ・スギを下木とした林分構造で、その成立過程は寒風害の諸被害に起因した改植・捕植によって成立した林分が多いです。

東信森林管理署管内（長野県の上田・佐久地域）は国内でも降水量が少なく内陸的気候でカラマツ造林の適地であり、多くの造林地があります。

カラマツ、ヒノキ二段林施業試験は、昭和四十八年度にカラマツ三十一年生を列状に帯状小面積皆伐をして、ヒノキを植栽し、生長状況を調査してきたものです。当時としてはカラマツ造林地において、下層にヒノキの植栽を行う二段林の造成は画期的な発想でありました。

○試験地の概要

試験地は、標高一、〇五〇^{メートル}、基岩は古生層粘板岩で土壌型はBD、下層植生はかん木となっています。

調査区 傍陽山一〇六五か林小班

面積 二・二五^{ヘクタール}

カラマツ S 16 植栽 67 年生

ヒノキ S 48 植栽 35 年生

対照区 傍陽山一〇六一り林小班
面積 〇・二五^{ヘクタール}
ヒノキ S 49 植栽 34 年生

○調査内容

昭和四十七年にカラマツ三十一年生の試験地内を四列区と六列区に分けて伐採して、跡地にヒノキを植栽しました（四列区には四列植栽し、六列区には六列植栽）。調査プロットは四列区・六列区にそれぞれ二箇所を設定し、上木のカラマツにも二箇所の調査プロットを設定しました。また、約三^{キロメートル}離れた場所にヒノキの対照区を設定しました。

試験区内の立木について胸高直径一^{メートル}単位、樹高は一〇^{メートル}単位に測定し平均胸高直径・樹高・本数の推移、生長量を五年毎に調査実施することとしました。

◎試験結果（H二年とH十七年の比較）

△胸高直径（ヒノキ）

四列区が14^{センチメートル}、生長量約一四〇^{センチメートル}、六列区が15^{センチメートル}、生長量約一六〇^{センチメートル}、対照区はH七年比のため比較はできないが、数値は14^{センチメートル}で列状区に比べ生長量が少ない。

△樹高（ヒノキ）

樹高は12・3^{メートル}、13・3^{メートル}で生長量は一五〇^{センチメートル}、一六〇^{センチメートル}と幅があるものの四プロットとも同程度の生長を示している。

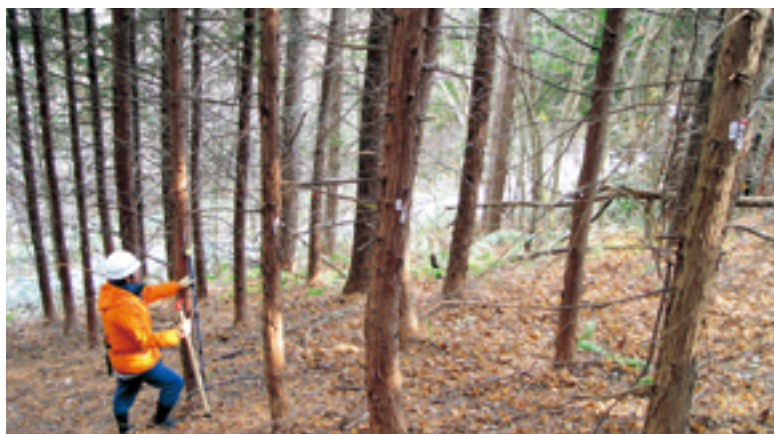
△本数

四列区で約五〇^本、六列区で三〇^本の低減を示している。対照区は現存本数が

他の調査区に比べ高い。

| 試験地 | 樹種 | 本数(本/ha) | | 直径(cm) | | 樹高(m) | |
|---------|------|----------|-----|--------|------|-------|------|
| | | H17現在 | 推移 | H17現在 | 推移 | H17現在 | 推移 |
| 1A(4列区) | ヒノキ | 1,200 | 54% | 13.8 | 138% | 12.5 | 164% |
| 3C(4列区) | ヒノキ | 1,600 | 46% | 14.7 | 141% | 12.3 | 150% |
| 2B(6列区) | ヒノキ | 2,050 | 28% | 16.3 | 166% | 13.3 | 166% |
| 4D(6列区) | ヒノキ | 1,376 | 34% | 15.0 | 160% | 12.4 | 163% |
| 5道上(上木) | カラマツ | 1,000 | 0% | 28.2 | 123% | 23.3 | 126% |
| 5道下(上木) | カラマツ | 1,000 | 0% | 27.5 | 120% | 22.2 | 120% |
| 対照区 | ヒノキ | 2,100 | 14% | 13.8 | 107% | 12.5 | 137% |

各試験区におけるH2からH17年の推移(対照区はH7からH17年の推移)



2B(6列区)

○まとめ

植栽から三十四年が経過した時点の調査であるが、直径生長で六列区が若干優位を示した。四列区も対照区に比べて劣っているものではない。今後は上木のカラマツによる被圧傾向があることからカラマツの伐採や、ヒノキの間伐を実施し生長調査を継続していくこととします。

○所在地 長野県上田市真田町

○報告書は「試験調査報告」平成十八年度 中部森林管理局 一一頁



林野庁人事(抄)

四月一日付

- ▽中部森林管理局総務部長(林野庁林政部林政課管理官(予算1)) 土田 薫
- ▽北海道森林管理局石狩森林管理署長(中部森林管理局森林整備部長) 瀬戸口 満
- ▽中部森林管理局森林整備部長(林野庁国有林野部管理課監査官) 桂川 裕樹
- ▽九州森林管理局宮崎森林管理署長(中部森林管理局東濃森林管理署長) 笹岡 哲也
- ▽中部森林管理局東濃森林管理署長(近畿中国森林管理局和歌山森林管理署長) 鶴田 和男
- ▽四国森林管理局森林整備部専門官(災害調整)(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 都留 浩明
- ▽中部森林管理局企画調整室監査官(本省経営局金融調整課農林漁業信用基金班農業保証保険経理係長) 小森 哲也
- ▽中部森林管理局総務部専門官(契約適正化)(森林技術総合研修所経営研修課研修企画官) 池本 育利
- ▽中部森林管理局総務部専門官

(契約適正化)(中部森林管理局北信森林管理署次長)

高見 公一

▽中部森林管理局総務部専門官(契約適正化)(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 中山 春樹

▽中部森林管理局総務部専門官(契約適正化)(林野庁林政部企画課課長補佐(統計調査班担当)) 木村 義則

▽中部森林管理局計画部流域管理指導官(環境省中部地方環境事務所野生生物課長) 所 芳博

▽中部森林管理局森林整備部企画官(間伐推進)(中部森林管理局企画調整室監査官(愛知森林管理事務所長)) 酒井 省三

▽中部森林管理局森林整備部専門官(災害調整)(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 山住 雄二

▽中部森林管理局企画調整室監査官(名古屋事務所副所長) 塚腰 進

▽中部森林管理局森林整備部企画官(間伐推進) 井上 隆裕

▽中部森林管理局富山森林管理署次長(中部森林管理局森林

整備部森林整備課課長補佐)

相馬 一之

▽中部森林管理局北信森林管理署次長(中部森林管理局企画調整室監査官) 中嶋 勝浩

▽中部森林管理局南信森林管理署次長(中部森林管理局飛騨森林管理署次長) 廣田 祐一

▽中部森林管理局飛騨森林管理署次長(中部森林管理局企画調整室監査官(名古屋事務所副所長)) 飯村 清夫

▽中部森林管理局東濃森林管理署次長(中部森林管理局南信森林管理署次長) 佐光 仁

▽中部森林管理局出向(計画部付)(中部森林管理局企画調整室企画官(業務調整担当)) 花見 隆夫

▽中部森林管理局出向(森林整備部付(名古屋事務所)(中部森林管理局計画部流域管理指導官) 天木喜代司

▽中部森林管理局出向(飛騨森林管理署神岡森林事務所首席森林官)(近畿中国森林管理局石川森林管理署長) 岡田 力男

▽退職(中部森林管理局総務

部長) 箱石 文夫

▽退職(中部森林管理局東濃森林管理署次長) 銅島 悟

中部森林管理局人事

四月一日付

▽環境省出向(中部地方環境事務所長野自然環境事務所生物多様性保全企画官兼野生生物課課長補佐(局指導普及課自然再生指導官(木曾森林環境保全ふれあいセンター)) 勝野 幸男

▽東北森林管理局出向(置賜森林管理署流域管理調整官(中信署業務課技術専門官) 岩間 由文

▽企画調整室企画官(情報処理)(東信署総務課長) 柳澤 元雄

▽総務部経理課課長補佐(経理課主計係長) 新家 孝之

▽計画部計画課森林施業調整官(企画調整室調整官(総務担当愛知森林管理事務所)) 那須 正彦

▽計画部計画課付(経理課課長補佐) 林 達夫

▽計画部指導普及課課長補佐(国有林野管理課課長補佐) 菊池 洋二

▽計画部国有林野管理課課長補佐(中信署流域管理調整官) 松元 和正

▽計画部国有林野管理課鑑定官(国有林野管理課計画処分係長) 郷原 辰実

▽森林整備部森林整備課課長補佐(計画課森林施業調整官) 松井 栄

▽計画部計画課(上席)技術指導官(測定担当名古屋事務所(飛騨署総務課長) 木島 伸悟

▽中信森林管理署流域管理調整官(国有林野管理課鑑定官) 村松 亮治

▽飛騨森林管理署流域管理調整官(計画課(上席)技術指導官(測定担当名古屋事務所)) 菅野 耕治

▽飛騨森林管理署付(飛騨署神岡森林事務所首席森林官) 花木 英一

▽企画調整室調整官(総務担当愛知森林管理事務所)(東信署業務第二課長) 千葉 求

▽北信森林管理署総務課長(中信署総務課長) 田村 英雄

▽中信森林管理署総務課長(南信署総務課長) 片岡 清和

▽東信森林管理署総務課長(北信署総務課長) 松島 利夫

▽南信森林管理署総務課長(局計画課企画係長) 宮澤 昌弘

▽木曾森林管理署南木曾支署総

三月三十一日付

- ▽ 務課長 (木曾署南木曾支署 務課長) 加藤 孝
- ▽ 飛騨森林管理署 務課長 (飛騨 署流域管理調整官) 中谷 博
- ▽ 本省大臣官房出向 (国際部 國際政策課海外情報班米州係 長) (東濃署治山課長) 上西 美樹
- ▽ 東海農政局出向 (整備部 地域 整備課山村振興係長) (岐阜署 下呂森林事務所 上席森林官) 大溝 敏哉
- ▽ 林野庁出向 (国有林野部 業務 課災害対策班災害調整係長) (岐阜署業務第一課長) 日置 順昭
- ▽ 企画調整室 監査係長 (飛騨署 白川森林事務所 上席森林官) 長田 昌幸
- ▽ 総務部 經理課 企画係長 (木曾 署業務第二課 技術専門官) 遠山 京一
- ▽ 総務部 經理課 主計係長 (經理 課 企画係長) 中村 栄一
- ▽ 企画部 計画課 企画係長 (森林 整備課 林道計画係長) 岩塚 伸人
- ▽ 企画部 計画課 経営計画第三係 長 (木曾署業務第二課長) 宮坂 利夫
- ▽ 企画部 計画課 課付 (計画課 測定 審査指導係長) 彦瀬 卓也
- ▽ 企画部 指導普及課 緑の普及係 長 (北信署業務課 経営係長) 塩島 卓夫
- ▽ 企画部 指導普及及課保護 林係長 (局 総務課付) 谷澤 恭子
- ▽ 企画部 国有林野管理課 企画係 長 (企画調整室 連絡調整官 (総務担当 名古屋事務所)) 松木 邦昭
- ▽ 企画部 国有林野管理課 財産管 理係長 (企画調整室 連絡調整 官 (連絡調整担当 名古屋事務 所)) 花井永二郎
- ▽ 企画部 国有林野管理課 計画 処 分係長 (木曾署業務第一課 長) 黒田 誠
- ▽ 森林整備部 森林整備課 林道計 画係長 (森林整備課 林道実行 係長) 山下 勝好
- ▽ 森林整備部 森林整備課 林道実 行係長 (飛騨署業務第二課 技 術専門官) 植村 政彦
- ▽ 森林整備部 販売課 生産係長 (北信署業務課長) 水井 明生
- ▽ 森林整備部 治山課 企画係長 (局 治山課 調査係長) 稲垣 明敏
- ▽ 森林整備部 治山課 調査係長 (中信署 治山課長) 村田 則幸
- ▽ 企画調整室 連絡調整官 (総務 担当 名古屋事務所) (企画調整 室 連絡調整官 (連絡調整担当 名古屋事務所)) 松田 恵
- ▽ 企画調整室 連絡調整官 (連絡 調整担当 名古屋事務所) (東 濃署川上森林事務所 首席森林 官) 安藤 達也
- ▽ 企画調整室 連絡調整官 (連絡 調整担当 名古屋事務所) (国 有林野管理課 技術専門幹 (森 林活用担当 愛知森林管理事務 所)) 杉浦 光夫
- ▽ 総務部 総務課付 (名古屋事務 所) (環境省 中部地方 環境事務 所 国立公園・保全整備課 里地 里山保全専門官) 遠山 良江
- ▽ 企画部 国有林野管理課 技術專 門幹 (森林活用担当 愛知森林 管理事務所) (東海農政局 整備 部 地域整備課 山村振興係長) 仲谷 華子
- ▽ 北信森林管理署 業務課長 (国 有林野管理課 企画係長) 谷澤 功志
- ▽ 北信森林管理署 治山課 技術專 門官 (木曾署 治山課 治山第一 係長) 小沢 啓一
- ▽ 中信森林管理署 治山課長 (局 治山課 企画係長) 土屋 幸治
- ▽ 中信森林管理署 業務課 技術專 門官 (木曾署業務第一課 技術 専門官) 一ノ沢 務
- ▽ 東信森林管理署 業務第二課長 (国有林野管理課 財産管理係 長) 小須田 啓
- ▽ 東信森林管理署 治山課長 (北 信署 治山課 技術専門官) 宮下 博幸
- ▽ 東信森林管理署 八ヶ岳森林事 務所 上席森林官 兼 川上森林事 務所 森林官 (東信署 川上森林 事務所 上席森林官) 小金沢 保重
- ▽ 南信森林管理署 業務第一課長 (指導普及及課 緑の普及係長) 野口 和幸
- ▽ 南信森林管理署 下諏訪森林事 務所 首席森林官 (木曾署 治山 課長) 金井 良蔵
- ▽ 木曾森林管理署 業務第一課長 (企画調整室 監査係長) 大野田 学
- ▽ 木曾森林管理署 業務第二課長 (南信署 諏訪南森林事務所 上 席森林官) 下平 明博
- ▽ 木曾森林管理署 治山課長 (東 信署 治山課長) 中村 享
- ▽ 木曾森林管理署 業務第一課 技 術専門官 (木曾署 治山課 技術 専門官) 下井田 徹
- ▽ 木曾森林管理署 業務第二課 技 術専門官 (南信署 下諏訪森林 事務所 首席森林官) 芳沢 真一
- ▽ 木曾森林管理署 治山課 技術專 門官 (木曾署 南木曾支署 治山 課 技術専門官) 中畑 孝史
- ▽ 木曾森林管理署 南木曾支署 業 務課長 (販売課 生産係長) 北沢 伸之
- ▽ 木曾森林管理署 南木曾支署 治 山課 技術専門官 (岐阜署 治山 第二課 治山第一係長) 掛部 晋
- ▽ 飛騨森林管理署 業務第二課 技 術専門官 (岐阜署 業務第二課 土木係長) 前田 英孝
- ▽ 飛騨森林管理署 上ヶ洞森林事 務所 森林官 併任 (飛騨署 甲森 林事務所 上席森林官) 稲川 年秋
- ▽ 飛騨森林管理署 大谷森林事務 所 上席森林官 (飛騨署 上ヶ洞 森林事務所 上席森林官) 下島 秀典
- ▽ 飛騨森林管理署 白川森林事務 所 上席森林官 (飛騨署 三日町 森林事務所 上席森林官) 橋本 角則
- ▽ 岐阜森林管理署 業務第一課長 (岐阜署 小坂森林事務所 上席 森林官) 二村 正博
- ▽ 岐阜森林管理署 業務第二課 付 (東濃署 業務第二課 付) 山本 由郎
- ▽ 岐阜森林管理署 樅谷森林事務 所 上席森林官 (東濃署 西股森 林事務所 上席森林官) 小林 泰喜
- ▽ 東濃森林管理署 治山課長 (局 治山課 審査係長) 梅田 英孝
- ▽ 東濃森林管理署 川上森林事務 所 首席森林官 (南信署 業務第 一課長) 小竹 尚久
- ▽ 東濃森林管理署 上矢作森林事 務所 上席森林官 (豊田森林事 務所 上席森林官) (愛知森林管

- ▽理事務所) 安藤 康生
- ▽北信森林管理署業務課経営係長 (南信署業務第一課経営係長) 藤井 勝
- ▽南信森林管理署業務第一課経営係長 (木曾署業務第一課経営係長) 岡本 守
- ▽木曾森林管理署業務第一課経営係長 (木曾署南木曾支署業務課森林育成係長) 古畑 輝雄
- ▽林野庁出向 (国有林野部経営企画課総務班庶務係兼国有林野部職員・厚生課) (富山署業務課森林ふれあい係長) 林 隆洋
- ▽近畿中国森林管理局出向 (兵庫森林管理署姫路森林事務所森林官 (飛騨署久々野森林事務所森林官) 堀 恵助
- ▽総務部総務課人事係 (木曾署駒ヶ岳森林事務所森林官) 吉村 芙美子
- ▽計画部森林技術センター総務係長 (林野庁林政課総務班庶務係) 藤田 泰平
- ▽森林整備部治山課伊那谷総合治山事業所総務係長 (南信署阿智森林事務所森林官) 宮澤 勉
- ▽森林整備部治山課伊那谷総合治山事業所総務係長 (局治山課伊那谷総合治山事業所総務係長) 南坂 節子
- ▽森林整備部治山課伊那谷総合治山事業所治山第一係長 (南信署治山課治山第二係長) 山田 正孝
- ▽森林整備部治山課中川治山事業所主任 (伊那谷総合治山事業所) (局治山課伊那谷総合治山事業所治山第一係長) 田中 重信
- ▽森林整備部治山課企画係主任 (飛騨署治山課蒲田治山事業所主任) 前田 秀則
- ▽豊田森林事務所森林官 (愛知森林管理事務所) (森林技術センター総務係長) 藤嶋 文博
- ▽富山森林管理署業務課森林育成係長 (東濃署恵那森林事務所) 松本 全弘
- ▽富山森林管理署治山課治山第一係長 (局治山課企画係主任 (治山担当愛知森林管理事務所) 光坂 紀治
- ▽富山森林管理署治山課片貝治山事業所主任 (飛騨署治山課庄川治山事業所主任) 須永 道彦
- ▽富山森林管理署宇奈月森林事務所森林官 (富山署業務課森林育成係長) 米澤 義則
- ▽富山森林管理署上市森林事務所森林官 (富山署宇奈月森林事務所森林官) 藤村 和重
- ▽北信森林管理署戸隠森林事務所森林官 (国有林野管理課財産管理係) 松井 公代
- ▽中信森林管理署業務課森林育成係長 (木曾署北小川森林事務所森林官) 近江 隆昭
- ▽中信森林管理署治山課治山第三係長 (木曾署敷原森林事務所) 豊野 敬子
- ▽中信森林管理署治山課上高地治山事業所主任 (中信署治山課付) 百瀬 裕章
- ▽中信森林管理署治山課白馬治山事業所主任 (中信署奈川森林事務所森林官) 坂井 晃
- ▽中信森林管理署奈川森林事務所森林官 (東信署治山課治山第三係長) 岩崎 剛
- ▽中信森林管理署小谷森林事務所森林官 (東信署八ヶ岳森林事務所森林官) 長屋 和幸
- ▽東信森林管理署治山課治山第三係長 (局治山課小渋川治山事業所) (伊那谷総合治山事業所) 小林 慶祐
- ▽東信森林管理署真田森林事務所森林官 (木曾署北滝越森林事務所森林官) 大崎 幸生
- ▽南信森林管理署治山課治山第三係長 (中信署治山課治山第三係長) 原 浩美
- ▽南信森林管理署諏訪南森林事務所森林官 (北信署戸隠森林事務所森林官) 堀内 志保
- ▽南信森林管理署阿智森林事務所森林官 (局治山課伊那谷総合治山事業所総務係長) 菅沼いく子
- ▽木曾森林管理署治山課治山第一係長 (北信署治山課治山第三係長) 大久保 秀一
- ▽木曾森林管理署北小川森林事務所森林官 (中信署小谷森林事務所森林官) 日向 秀司
- ▽木曾森林管理署駒ヶ岳森林事務所森林官 (木曾署南木曾支署広瀬森林事務所森林官) 西村 進
- ▽木曾森林管理署開田森林事務所森林官 (東信署真田森林事務所森林官) 吉村 充
- ▽木曾森林管理署北滝越森林事務所森林官 (木曾署三岳森林事務所森林官) 古田 誠
- ▽木曾森林管理署南木曾支署業務課森林育成係長 (中信署業務課森林育成係長) 柿澤 靖宏
- ▽木曾森林管理署南木曾支署業務課森林ふれあい係長 (木曾署蘭森林事務所森林官) 金 敏博
- ▽木曾森林管理署南木曾支署治山課治山第一係長 (中信署治山課白馬治山事業所主任) 太田 昭信
- ▽木曾森林管理署南木曾支署蘭森林事務所森林官 (林野庁森林整備部計画課企画班企画係) 高垣 和士
- ▽飛騨森林管理署業務第二課付 (飛騨署打保森林事務所森林官) 井上 繁二
- ▽飛騨森林管理署治山課治山第一係長 (富山署治山課治山第一係長) 田丸 清彦
- ▽飛騨森林管理署治山課蒲田治山事業所主任 (飛騨署治山課治山第一係長) 山本 幸平
- ▽飛騨森林管理署治山課庄川治山事業所主任 (富山署治山課片貝治山事業所主任) 貴田 雅規
- ▽飛騨森林管理署久々野森林事務所森林官 (森林技術総合研修所経営研修課 (専攻科研修生)) 川口 大介
- ▽飛騨森林管理署中洞森林事務所森林官 (飛騨署大谷森林事務所森林官) 遠山 恵一
- ▽飛騨森林管理署打保森林事務所森林官 (飛騨署中洞森林事務所森林官) 芹田 滋弘
- ▽岐阜森林管理署業務第二課土木係長 (岐阜署樫谷森林事務所森林官) 大西 正昭
- ▽岐阜森林管理署治山第二課治山第一係長 (岐阜署治山第二課岐阜西部治山事業所主任) 高橋 進
- ▽岐阜森林管理署治山第二課岐阜西部治山事業所主任 (飛騨署治山課付) 宗廣 克徳
- ▽岐阜森林管理署小坂森林事務所

- ▽所森林官 (岐阜署業務第二課付) 井上 典子
- ▽岐阜森林管理署下呂森林事務所森林官 (東濃署上矢作森林事務所森林官) 金森 晋
- ▽東濃森林管理署治山課治山第二係長 (林野庁国有林野部経営企画課総務班総括係) 菅野 紀子
- ▽東濃森林管理署治山課付 (東濃署治山課治山第二係長) 菅野 紀子
- ▽東濃森林管理署西股森林事務所森林官兼加子母森林事務所森林官 (岐阜署濁河森林事務所森林官) 高橋 良二
- ▽林野庁出向 (林政部林政課主計班予算総括係へ) (計画課経営計画第一係) 堀口 貴広
- ▽総務部経理課支出係 (東信署東部森林事務所) 横山 佳子
- ▽森林整備部治山課小渋川治山事業所 (伊那谷総合治山事業所) (南信署豊丘森林事務所) 仲上 曜次郎
- ▽森林整備部販売課 (収穫担当) 愛知森林管理事務所 (豊邦森林事務所 (愛知森林管理事務所)) 高原 将樹
- ▽富山森林管理署業務課森林ふれあい係 (販売課 (収穫担当) 愛知森林管理事務所) 下城 大作
- ▽中信森林管理署業務課経営係

- (中信署治山課姫川治山事業所) 浅子 竜一
- ▽東信森林管理署東部森林事務所 (東信署佐久平森林事務所) 田中 健
- ▽木曾森林管理署業務第二課森林育成係 (木曾署木曾福島森林事務所) 西方 雄一郎
- ▽木曾森林管理署三岳森林事務所 (木曾署瀬戸川森林事務所) 谷脇 雅博
- ▽木曾森林管理署敷原森林事務所 (木曾署業務第二課森林育成係) 黒澤 友大
- ▽木曾森林管理署南木曾支署蘭森林事務所 (木曾署南木曾支署柿其森林事務所) 松原 正志
- ▽飛騨森林管理署神岡森林事務所 (飛騨署古川森林事務所) 川久保 仁
- ▽岐阜森林管理署治山第二課板取川治山事業所 (岐阜署治山第二課治山第一係) 乾 裕太
- ▽東濃森林管理署東股森林事務所 (東濃署西股森林事務所) 片桐 義行



- 新規採用者** 四月一日付
- 〔Ⅰ種採用〕
- ▽愛知森林管理署事務所豊邦森林事務所 山本 武郎
 - ▽中信森林管理署治山課姫川治山事業所 山岡 直樹
 - ▽東信森林管理署佐久平森林事務所 重松 千晶
- 〔Ⅱ種採用〕
- ▽富山森林管理署砺波森林事務所 下牧 幹
 - ▽北信森林管理署野沢森林事務所 中澤 栄貴
 - ▽南信森林管理署豊丘森林事務所 澤田 康平
 - ▽木曾森林管理署瀬戸川森林事務所 齋藤 由晃
 - ▽木曾森林管理署南木曾支署与川森林事務所 江崎 陽介
 - ▽飛騨森林管理署古川森林事務所 神村 高明
 - ▽岐阜森林管理署大洞森林事務所 森下 佳宏
 - ▽東濃森林管理署恵那森林事務所 島田 純樹

- 業経済部農業課 (森林整備部治山課中川治山事業所主任 (伊那谷総合治山事業所)) 宮前 崇
- ▽定年退職 (計画部付 (名古屋事務所)) 佐野 通
 - ▽定年退職 (企画調整室) 小林 正道
 - ▽定年退職 (北信署) 平野 友行
 - ▽定年退職 (経理課) 松橋千恵子
 - ▽定年退職 (計画課) 寺澤 進
 - ▽定年退職 (富山署) 佐々木雅則
 - ▽定年退職 (木曾署) 三浦 稔
 - ▽定年退職 (南木曾支署) 丸田富美子
 - ▽定年退職 (木曾署) 澤村 俊江
- 基幹作業職員人事** 三月三十一日付
- ▽定年退職 (東信署) 内堀 秀人
 - ▽定年退職 (東信署) 塚田 茂
 - ▽定年退職 (東信署) 荻原 孝雄
 - ▽定年退職 (東信署) 木内 一郎
 - ▽定年退職 (木曾署) 伊藤 勝
 - ▽定年退職 (木曾署) 中島 裕子
 - ▽定年退職 (飛騨署) 中島 茂雄
 - ▽定年退職 (飛騨署) 松葉 柁司
 - ▽定年退職 (飛騨署) 坂谷 富雄
 - ▽定年退職 (飛騨署) 船口 義通
 - ▽定年退職 (飛騨署) 架場 一儀
 - ▽定年退職 (飛騨署) 中道 作雄

- 常用作業職員人事 三月三十一日付
- ▽定年退職 (岐阜署) 中島 伸治
 - ▽定年退職 (東濃署) 伊藤 茂明
- 行事・会議等の日定**
- ◎岐阜県植樹祭 5月3日 岐阜県大垣市
 - ◎緑の募金 5月4日 長野市
 - ◎東京森の市 5月10・11日 東京都
 - ◎署長等会議 5月15・16日 長野市
 - ◎愛知県植樹祭 5月17日 愛知県大口町
 - ◎とやま森の祭典 5月23日 富山県砺波市
 - ◎未来世紀へつなぐ緑のバトン 5月24日 木曾署管内
 - ◎名古屋シティ・フォレスト事業 5月14・24日 岐阜・木曾署管内
 - ◎長野県植樹祭 5月31日 長野市
 - ◎森林ふれあい講座 5月31日 愛知所管内